

2016 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [内灘町立向栗崎小学校] 担当教諭名 [多々見 勇太] (6年2組 28名)

相手国・地域 [ロシア]

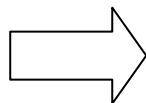
海外学校名 [Secondary School No.19] 担当教諭名 [Dina Averyanova]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	国際理解教育「世界とつながるアートマイル」	24
	図工	「思い描いたメッセージを絵に表そう」	4
	社会	「今後の将来に必要な職業は何だろう」	2

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	今後も必要な(残すべき)職業を世界に発信しよう
メッセージ (相手と一緒に 絵に込めた想い)	情報社会が進む中で、将来的になくなってしまいう職業が数多く予想されている現状があり、自分達の将来を明るい世の中にするために、必要な(残すべき)職業を伝え、その魅力を絵に表し、日本(ロシア)から発信する。 職業発信と関連させ、お互いの伝統文化についても知る。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ロシアの子ども達と英語を通してコミュニケーションをとることができた。世界と「つながる」という達成感をもつことができた。 世界についてお互いに考える中で、新しい文化や考え方を知ることができた。国際理解につながった。 	<ul style="list-style-type: none"> テーマを考えていく中で、世界の現状を理解している児童が少なく、問題意識をもたせることができなかった。そのため、深い話し合いはできず、何となく、テーマが決まってしまう部分があった。また、「楽しい」という活動で終わってしまった部分もあった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ロシアの文化を知ることによって、ロシアに興味をもつだけでなく、他の国についても興味をもつ児童が増えた。 世界にはいろいろな問題があることを改めて知り、自分達にできることを考える姿が社会の時間を通して見られるようになった。 外国語活動では、進んで英語を話そうとする態度が身についてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国の人と関わるという経験はとても貴重で、外国語活動や自分の将来にもつながる活動だと知れた。 文化の違いを知ることによって、互いのよさを認め合い、「これからは世界の人たちとも協力しなければならない」という意識が強くなった。指導にも生かせる。 世界には貧しい国もたくさんあり、自分達から世界に何かを発信することはとても重要だと学べた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	ロシアはどんな国で、有名なものは何かなど具体的に調べる。 自己紹介の内容を考える。 紹介したい日本の物を考える。	ロシアを調べ、日本とは違う文化に興味をもっていた。 早く会話をしてみたい気持ちと恥ずかしい気持ちが入り交じっていた。	総合4
共有 テーマ学習	10月	スカイプでTV会議。 (主に自己紹介と文化紹介) どんなテーマで活動を進めるのか話し合う。	とても楽しそうに進んで会話していた。 ロシアについて興味を深めていた。 テーマについての反応が薄かった。 問題意識をもてていなかった。	総合4 社会2
融合 メッセージ 壁画デザイン	11月	どんなメッセージを世界に発信するか話し合う。 メッセージはどのような形で絵に表すのか話し合う。 絵のデザインについて話し合う。	なかなか伝えるメッセージが決まらない。 悩む様子が目立っていた。 一部の児童で話し合いが進んでいた。(教師が支援をしたが、なかなかイメージをつかめていない)	総合8
創造 壁画制作	12月	デザインの下書きをする。 デザインに色をつける。 デザインを完成させる。	みんなで考えたデザインとメッセージを何とか絵に表そうと意欲的に取り組んでいた。 みんなで仕事を分担し、協力する姿がたくさん見られた。	総合6 図工4
評価 振り返り 自己評価	2月 3月	完成のイメージを予想する。 届いた絵を鑑賞する。	完成イメージを和気藹々と話していた。 早く届いてほしいと期待していた。 協力して完成できた絵に誇りをもち、達成感ももっていた。	総合2

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入(A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え(5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4	紹介したい文化を資料で探し、お互いに伝え合っていたから。
異文化の理解	B	4	異文化に興味はもち、ふり返りでよさを認め合っていたから。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	3	英語でのコミュニケーションはやはり難しいと感じたから。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	3	調べた情報を発信しただけだから。工夫などできなかったから。
人間関係をつくる (学級内・海外の相手)	A	4	声かけと心配りが話し合いや制作の過程で見られたから。
協働する力 (役割分担・協力)	A	5	役割分担をし、一人一人が仕事を全うし協力できていたから。
学習を追究する意欲	B	2	問題意識が足りなかったから。教師主導だったから。
表現力 (伝えたいことを言葉・絵で表す)	C	4	相手に伝わる細かな工夫をよく考えていたから。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	C	2	ふり返りには大きな個人差が表れていたから。